

令和4年度 第1回学校関係者評価委員会 意見集約及び回答

*⇒印:学校からの回答です

基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検中項目【1-1】⇒「資料2」1頁の結果を参考に記入をお願いします

- ・社会のニーズ等を踏まえた将来構想の検討に関しては、貴校への教育課程上の期待や社会で求められる資質能力の把握のために、計画的な企業訪問を実施されてははいかがでしょうか。
- ・教育理念に基づいた人材育成に引き続き努めていただきたいと思います。

⇒即戦力となる調理師養成のため、年3回実施する校外実習期間中の事業所巡回や6月に開催する合同会社説明会などの機会を設けて情報収集に努めています。

基準2 学校運営

点検中項目【2-2】～【2-7】⇒「資料2」1～2頁の結果を参考に記入をお願いします

- ・人事考課制度の導入運用がチェック項目にあります。導入の予定がない理由はございますか。
- ・生徒指導における生徒情報システムの活用については、情報を教員間で共有するために有用性は高いと感じますので、より効率のよい運用方法を検討されるのが得策と感じます。
- ・運営方針と実施計画のバランスのとれた運営がなされることを期待しています。

⇒本校では、全職員が一室で執務しており、情報共有が容易で、管理職の指導助言や職員相互の支え合いが日常的に行われています。人事考課制度導入のメリットよりも導入による職員の負荷の方が大きいと現状では判断しています。人事考課を給与に反映させる制度導入については、検討に至っておりません。

⇒校内サーバー活用による職員間の情報共有、各種業務処理の効率化に引き続き取り組みます。

基準3 教育活動

点検中項目【3-8】～【3-12】⇒「資料2」2～3頁の結果を参考に記入をお願いします

- ・今後、「若い世代の教員確保」に向けた具体的な方針や方策はありますか。
- ・到達目標の達成のために教員間の連携を図る必要性が課題として挙げられていますが、連携を強化する取組がありましたらご教示願います。
- ・専門知識の理解と調理技術の習得によって、卒業後の飲食業界での活躍が期待できる人材育成を行なっていただきたい。

⇒若い世代の教員確保は大きな課題です。調理師会、司厨士協会、日中協などの団体を通して紹介を受けるなど人材確保に努めています。

⇒講師の多くが非常勤ため教育方針周知や情報共有のため年2回(3月、8月)講師会議を開催しています。

基準4 学修成果

点検中項目【4-13】～【4-15】⇒「資料2」3頁の結果を参考に記入をお願いします

- ・資格や免許取得率の向上のため、全国水準との比較検討をされていますが、検討結果をもとに、どのような教育活動の見直しが行われているか、教えていただければと思います。
- ・高い就職率や免許の取得率により一定の社会的評価が得られているものと判断します。

⇒令和3年度から、全国調理師養成施設協会が定める実技検定試験の評価基準を授業の評価項目に加えたことで、講師陣の指導に一貫性を持たせることが可能となりました。

⇒即戦力となる人材育成に取り組むことが、高く評価されるものと確信しています。

基準5 生徒支援

点検中項目【5-16】～【5-21】⇒「資料2」4～5頁の結果を参考に記入をお願いします

- ・専任カウンセラーの設置については、必要性が高いことから、非常勤での採用等を検討されてはいかがでしょうか。
- ・点検項目【5-18】生徒相談については、前回比から大きく評価を下げていますが、要因や改善策について教えていただければと思います。
- ・生徒相談体制については、専従者を置くことは難しいと思う(経営面)。現在行っている対応にさらに職員同志の意思疎通を深めていけばより対応できると考えます。
- ・悩みを抱えた生徒やコミュニケーション不足に陥りがちな留学生との相談体制が整うとよいと思います。

・同窓会組織に対する意見

同じ志を持った人間の集まりは楽しいし、また話によって色々な情報が得られ、人間の絆としてはすばらしいと思います。全校生徒88名の同窓会は数的にも不可能だと思います。各学科の各グループの中で、総代、副総代が中心となり会則等を定め実施すればいかがでしょうか。卒業し、就職すれば勤務地も、仕事内容が違うことから、常時全員が出席することは不可能と思いますが、強制ではないので出席できる者だけの同窓会も楽しいと思います。

最初に同窓会で人をまとめると言うことは、最初の通知文、ライン等で大変ですが、最初に基礎を作ってしまうと、次回はそれに従えば良いと思います。

⇒調理師養成施設指導ガイドライン(厚労省)で定められた施設・設備については、全て備えています。教育相談専用の部屋は設置していません。

現時点の生徒異動は、退学4名(調理師科2、専門調理技術科1年1、同2年1)、2年制課程から1年制課程への転科1名です。加えて、今年度中の退学見込み者が3名(いずれも専門調理技術科1年)います。

生徒相談は、クラス担任をはじめ職員が情報共有しながら家庭に加え、必要に応じて心療内科などの専門医と連携しています。専任カウンセラーの配置には課題が多いため、職員の協働体制でこれを補っています。

⇒本校に関係する同窓会組織はありませんが、卒業生の転職先の紹介、悩み相談、スキルアップのための実習施設の使用など、学校としてきめ細かく対応しています。ご指摘いただいた卒業生の同窓会的な集まりについては、各人の自主性を尊重しており、学校としての働きかけは特にしておりません。

基準6 教育環境

・教育設備の充実や安全管理に引き続き努めていただきたいと思います。

⇒生徒の学習環境の整備に引き続き取り組んでまいります。

基準7 生徒の募集活動と受入

点検中項目【7-25】～【7-27】⇒「資料2」5～6頁の結果を参考に記入をお願いします

・魅力ある学校づくりを推進していただき、入学者数の確保をお願いします。

⇒高校新卒者向けに加えて社会人向けの広報活動にも取り組んでいます。

(1)国(厚労省)の学費支援制度を求人広告を活用して広報しています。

この制度による在籍者は本年度8名です。

(2)社会人対象の説明会を9月に実施し、5名が来校しました。

基準8 財務

点検中項目【8-28】～【8-31】⇒「資料2」6頁の結果を参考に記入をお願いします

・光熱費の上昇や調理材料費の値上がりなど、厳しい財務状況が続きますが、節電節水などの効率的な運営と食材の適切な仕入れにより、支出増加を防いで健全な財務運営がなされますよう望みます。

⇒引き続き適正な財務運営に努めてまいります。

基準9 法令等の遵守

点検中項目【9-32】～【9-34】⇒「資料2」7頁の結果を参考に記入をお願いします

・個人情報保護について、平成27年に規程や細則をつくり運用されていますが、個人データの取り扱いについて自己評価が低い理由はございますか。

・適正に運営されているものと判断します。

⇒生徒の個人情報を含む守秘義務の遵守を非常勤講師を含む教職員全体に徹底する必要があります。

基準10 社会貢献・地域貢献

点検中項目【10-36】～【10-37】⇒「資料2」7頁の結果を参考に記入をお願いします

・社会貢献や地域貢献を通じて、学校の評価が向上しているものと判断します。

⇒Y級グルメコレクション(甲府商工会議所・9月)、親子板前教室(海と日本財団・10月)、信玄公祭り(山梨県観光協会他・10月)に生徒がボランティア参加しました。

その他全般

その他何かございましたらご自由に記入をお願いします

・評価項目(チェック項目)は経年比較等の必要性からどうしても多岐に渡り、網羅的になってしまいますが、高評価を継続して得ている項目は少し整理するなどして、課題がある点により焦点化することで、実効性のある学校評価の運用になるように感じました。

・自己評価結果報告の「状況・課題・今後の改善策等」の欄に関して、前回比で明らかに評価を下げている項目等については、その要因や具体的な改善策を示していただけると貴校の取組がよりわかりやすく伝わるものと思います。

・コロナウイルスのまん延やウクライナ情勢によって、なかなか先の見通せない状況ですが、徐々に経済も回復基調となっています。生徒の学習環境や卒業後の飲食業界に本来求められている姿を私達もあらためて見つめ直していきたいと感じます。

・全て項目を読ませて頂きましたが、詳細に且つ明確に記載されており、素晴らしいと思いました。特に「自己評価委員会」の設置、また「語先後礼」の校内掲示は、生徒のこれからの未来の為に素晴らしいと思います。

・極端にチェック数が少ない点は改善が必要なのでは。
(職員・教員に対するキャリアアップなど)